

# 第1回 やつしろ・まち・ひと・しごと 対策推進会議

～アンケート調査 速報～

平成27年7月3日

# 目次

## 1.アンケート調査について P2

(1)アンケートの実施要領

## 2.市民アンケート結果(速報) P3

(1)属性

(2)定住に係る意向

(3)就業に係る現状・意向

(4)結婚・出産・子育てに係る現状・意向

(5)人口減少に係る現状認識

## 3.学生アンケート結果(速報) P11

(1)属性

(2)卒業後の居住地に係る意向

(3)結婚・出産・子育てに係る意向

# 1. アンケート調査について

## (1) アンケートの実施要領

### ① 市民アンケート

- ◆ 定住に係る意向の把握
- ◆ 就業に係る現状・意向の把握
- ◆ 結婚・出産・子育てに係る現状・意向の把握
- ◆ 人口減少に係る現状認識
- ◆ 八代市で必要と考える取組みの把握

#### 調査対象者

- 平成27年5月22日時点で、住民基本台帳に記載のある20歳以上の者から無作為抽出した4000人
- ただし、合併前市町村毎に、人口により配分数を設定

#### 調査実施状況

- 平成27年6月10日 調査票配布
- 平成27年6月25日 アンケート提出期限
- 平成27年6月17日時点 1,078票回収(回収率27%)

※本資料では、6月17日時点回収分を集計対象としている。

### ② 学生アンケート

- ◆ 卒業後の居住地に係る意向の把握
- ◆ 結婚・出産・子育てに係る意向の把握

#### 調査対象者

- 中九州短期大学2年生、熊本高等専門学校八代キャンパス5年生、市内全7高等学校3年生
- 調査票配布数 各学校80～120枚程度

#### 調査実施状況

- 平成27年6月10日 調査票配布
- 平成27年6月18日 アンケート回収(821票)

### ③ Uターン等意向調査アンケート

- ◆ Uターンに係る意向の把握

#### 調査対象者

- 「やつしろの風」会員 約1,000人

#### 調査時期等

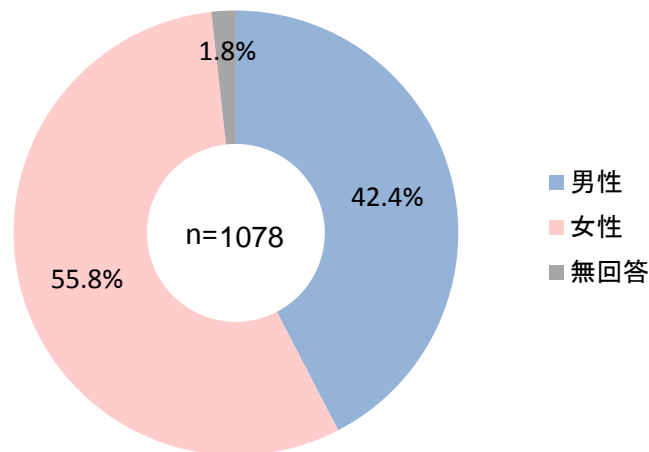
- 平成27年8月発行「やつしろの風」に調査票を同封予定

# 2. 市民アンケート結果(速報)

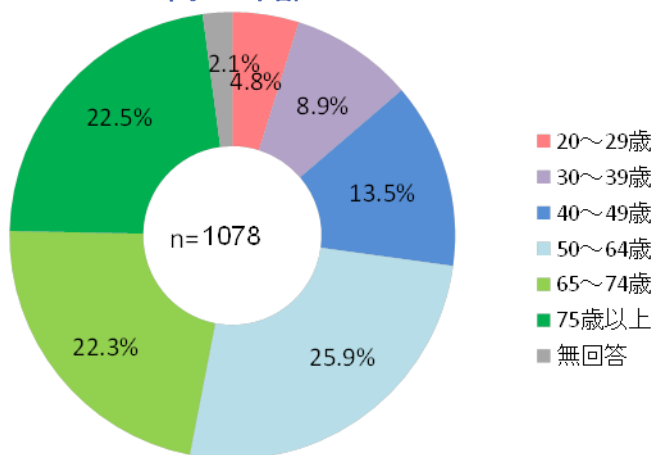
## (1) 属性

- 男女比は、男性42.4%、女性55.8%である。
- 年齢階層は、65歳以上が44.8%と回答者の約半数を占め、子育て世代である20～49歳は、27.2%である。

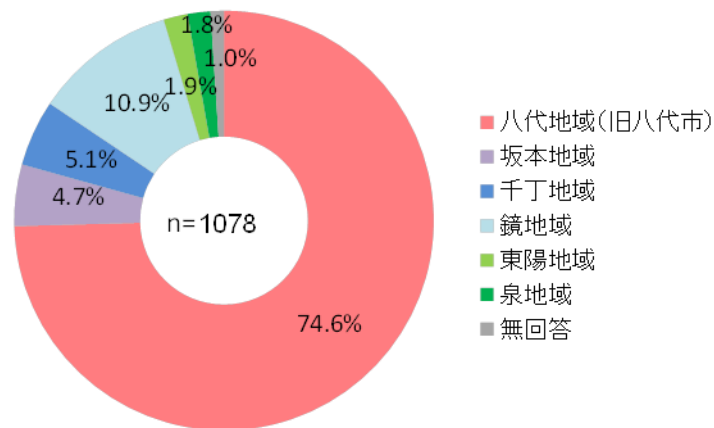
▼問1 性別



▼問2 年齢



▼問3 居住地



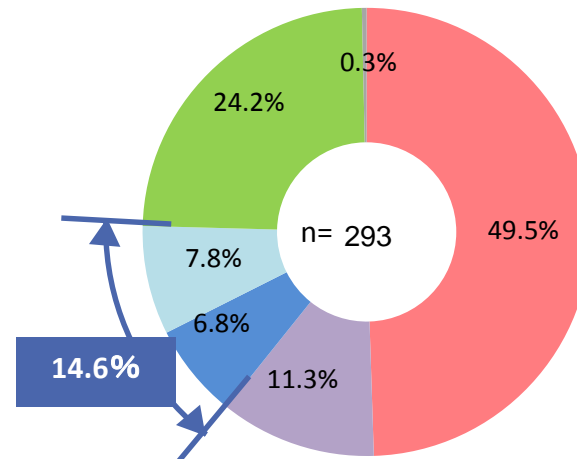
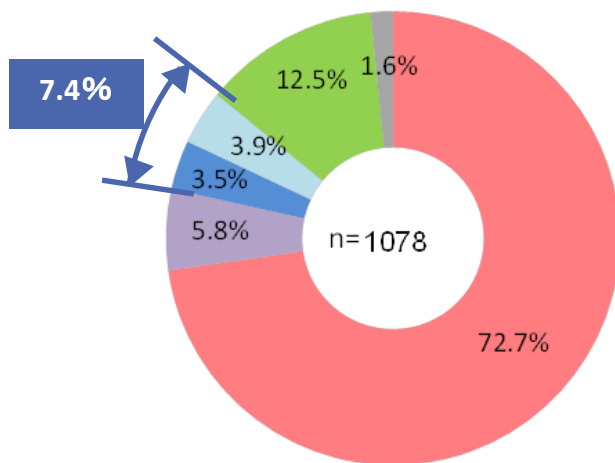
## (2) 定住に係る意向

- 全年齢層の72.7%、20～49歳についても49.5%が、「今後も今住んでいる地域に居住したい」と考えている。
- その一方で、20～49歳の14.6%は「市外へ転出する(したい)」との意向を示している。

### ▼問8 八代市居留意向

(全年齢)

(20～49歳)



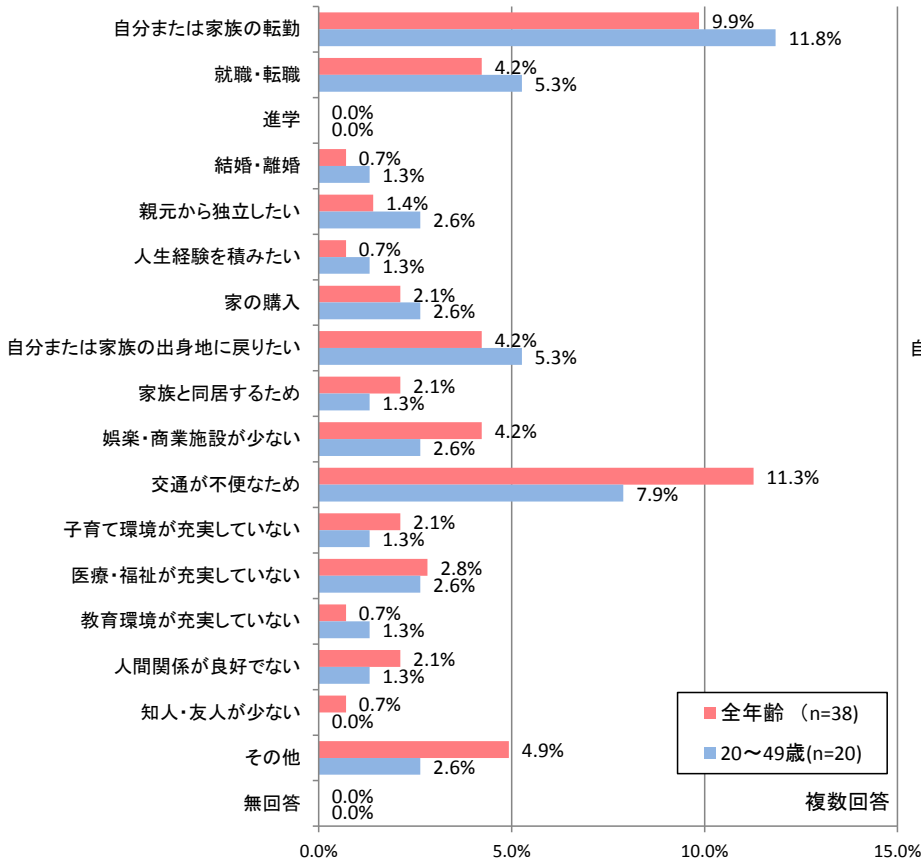
- 今住んでいる地域に住み続けたい
- 八代市内の別の地域に移り住みたい
- 住み続けたいが、市外へ転出すると思う
- 市外へ転出したい
- わからない
- 無回答

### (2) 定住に係る意向

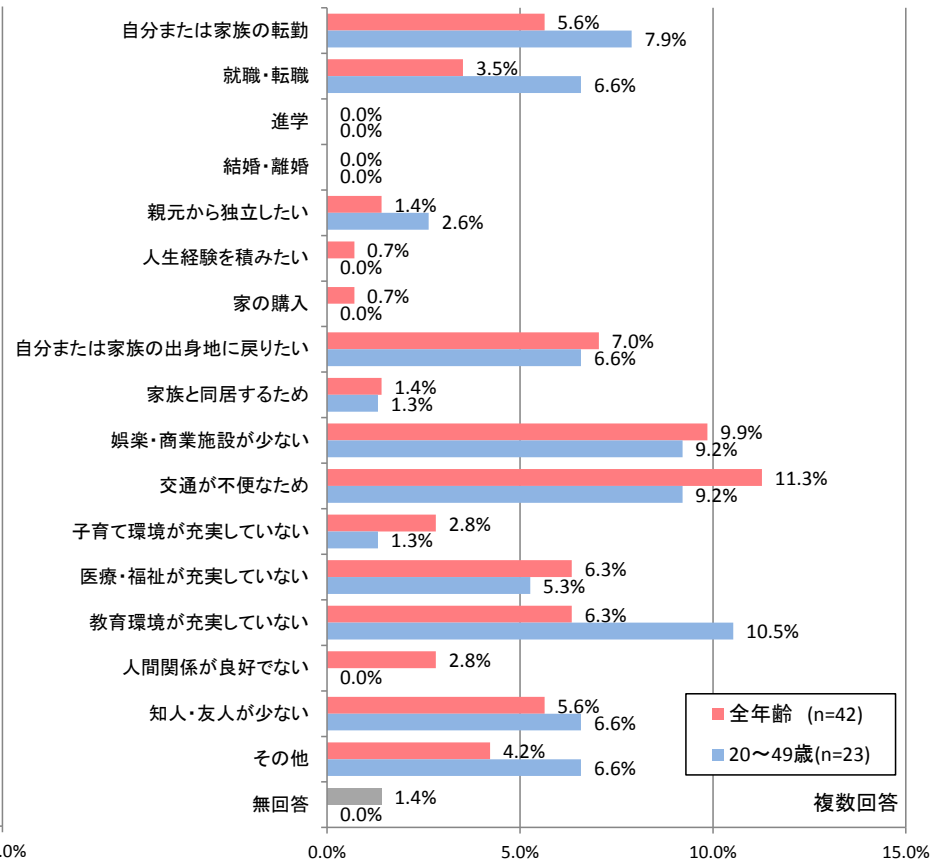
- ▶「住み続けたいが、市外へ転出すると思う」回答者の転出理由としては、「転勤」「交通が不便」が多い。
- ▶「市外へ転出したい」回答者の転出理由は、「交通が不便」「娯楽・商業施設が少ない」に加え、20～49歳では「教育環境が充実していない」との回答が多い。

▼問9 八代市外へ転出する(したい)理由

(「住み続けたいが、市外へ転出すると思う」回答者)



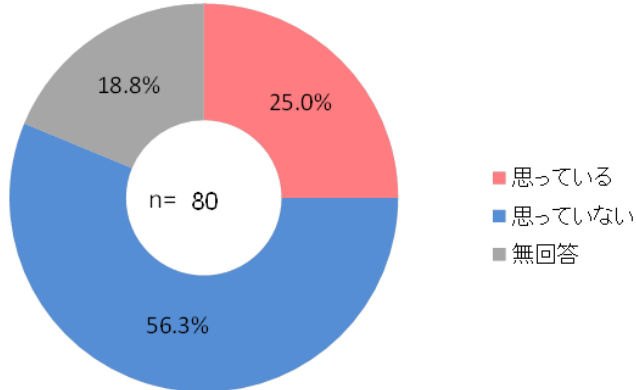
(「市外へ転出したい」回答者)



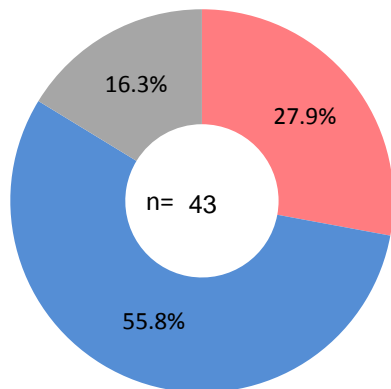
### (2) 定住に係る意向

- 八代市外に転出する(したい)回答者のうち、将来八代市に住みたいと考えている方は3割程度である。
- 八代市に住むために必要な環境・支援としては、全年齢では、「働く場が多い」「医療・福祉の充実」「災害に強い」が多いものの、20～49歳では「子育てと仕事を両立しやすい(34.6%)」「商店や娯楽の充実(30.9%)」に対する指摘も多い。

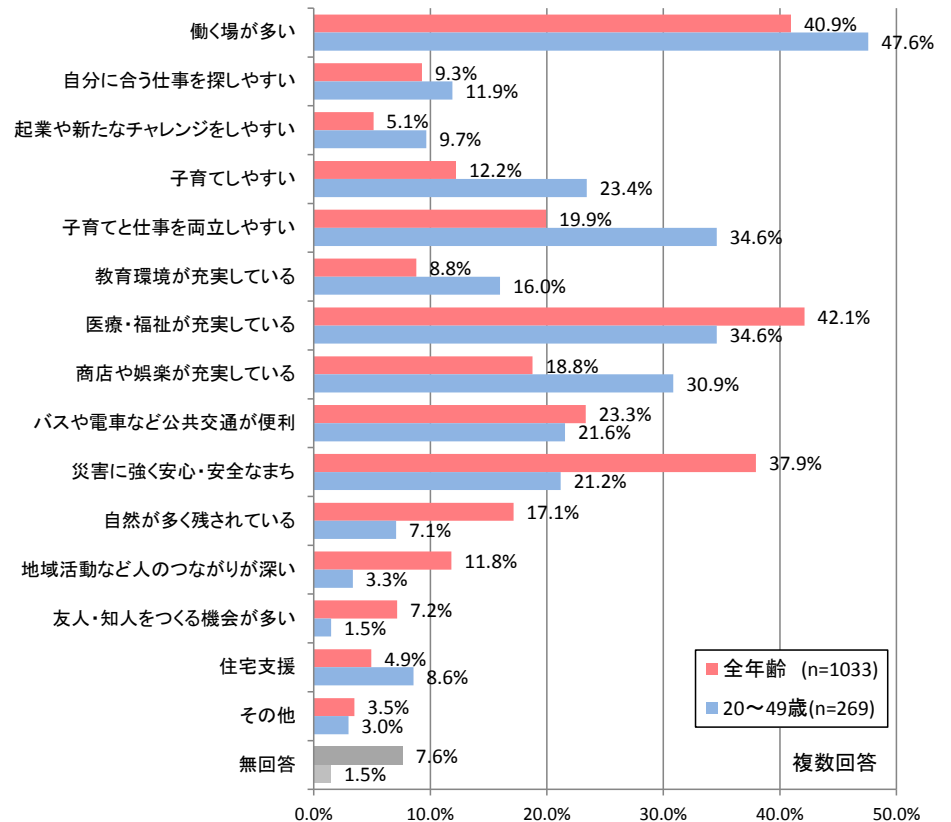
▼問11 将来の八代市居留意向  
(全年齢)



(20～49歳)



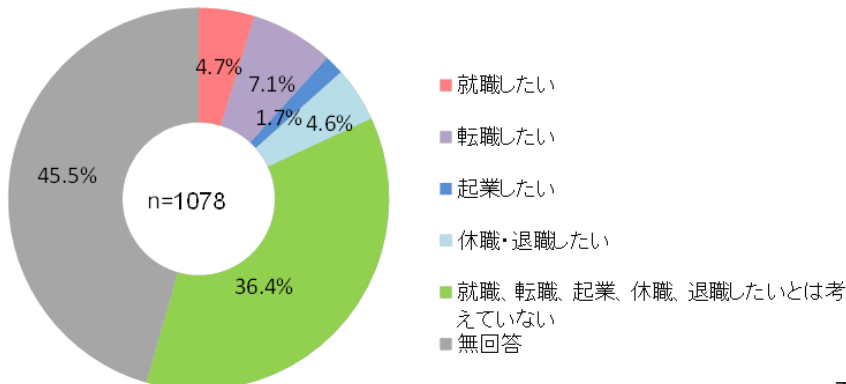
▼問12 八代市に住むために必要な環境・支援



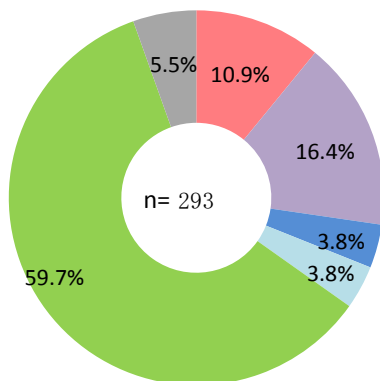
### (3) 就業に係る現状・意向

- 就業に係る意向としては、20～49歳の10.9%が就職を、24.0%が転職、起業、休職・退職を考えている。
- 20～49歳における転職、起業、休職・退職等の理由としては、「給与が低い(58.6%)」が最も多く、次いで「希望する仕事でない(27.1%)」、「休暇がとりにくい(27.1%)」となっている。

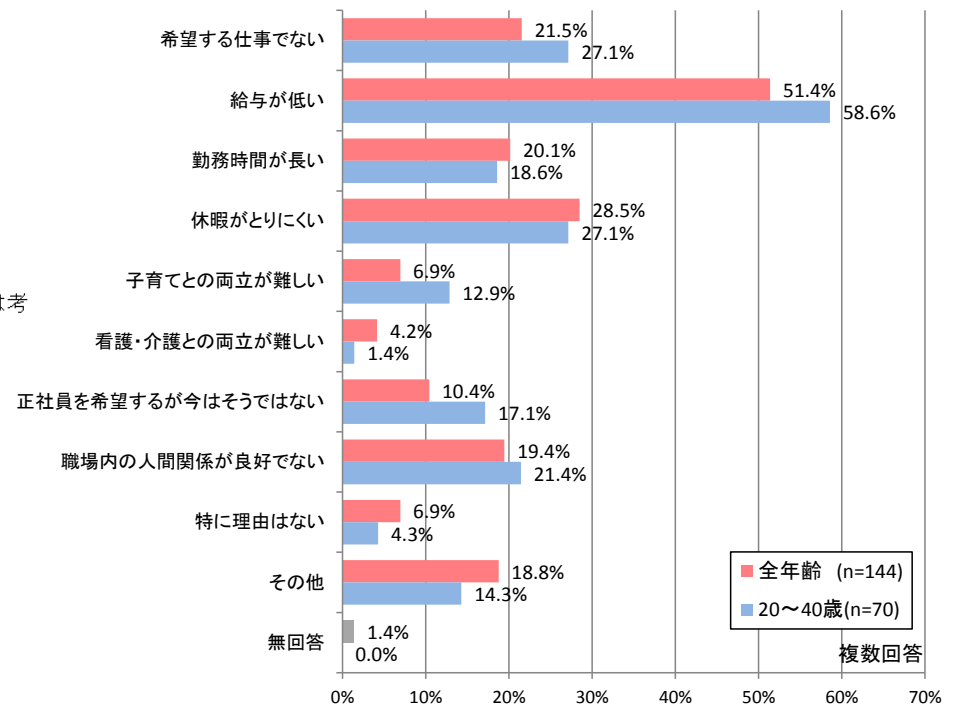
▼問16 転職、転職等の意向  
(全年齢)



(20～49歳)



▼問17 転職、起業、休職・退職をしたい理由





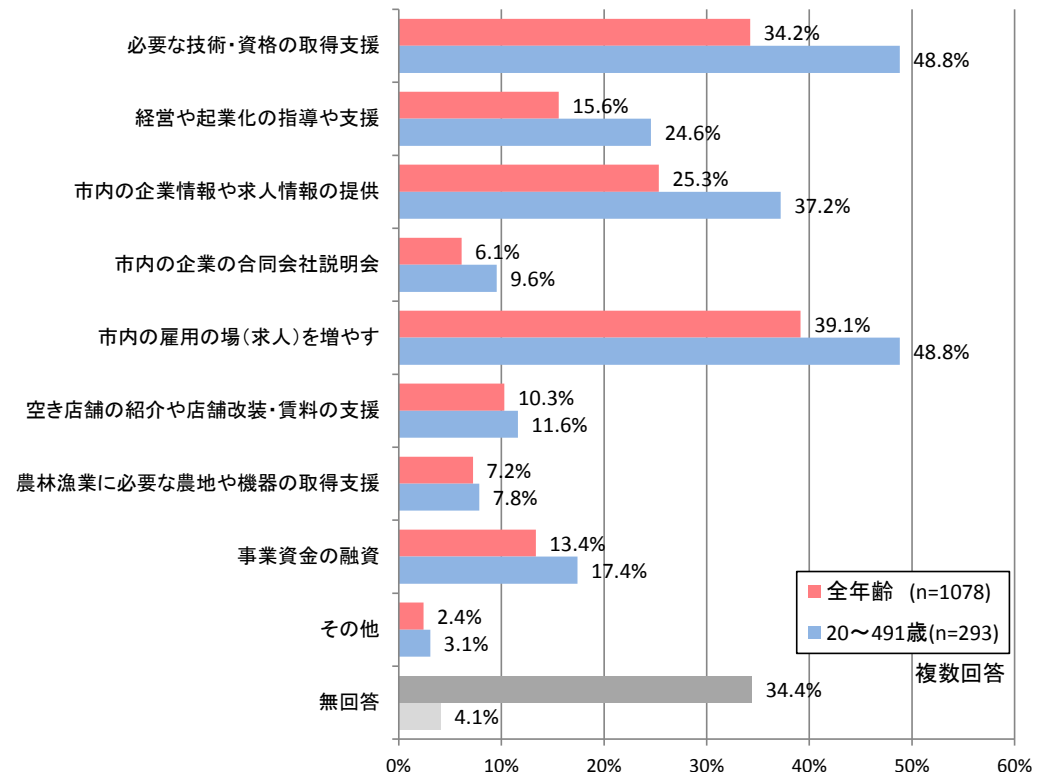
### (3) 就業に係る現状・意向

- 希望する業種としては、「業種は問わない」が最も多く、次いで「医療・福祉」である。
- 就職、転職、起業する場合に必要な支援としては、「市内の雇用の場(求人)を増やす」「必要な技術・資格の取得支援」「市内の企業・求人情報の提供」に対する要望が高い。

▼問18 希望の業種(上位5位)

全年齢		20~49歳	
1	業種は問わない 28.3%	業種は問わない 27.5%	
2	医療・福祉 14.5%	医療・福祉 17.6%	
3	サービス業 7.6%	その他 8.8%	
4	製造業 6.2%	公務 5.5%	
5	その他 6.2%	教育・学習支援業 4.4%	サービス業 4.4%

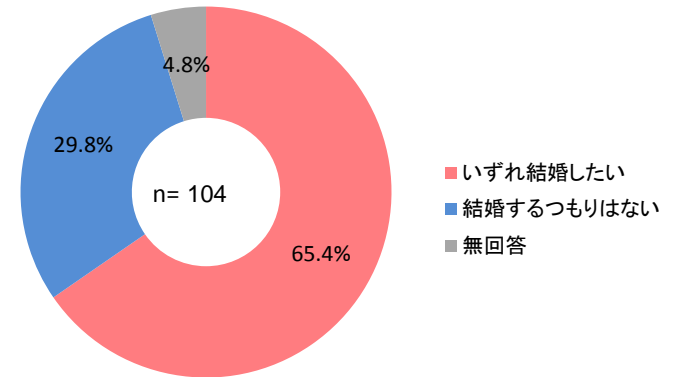
▼問19 就職、転職、起業する場合に必要な支援



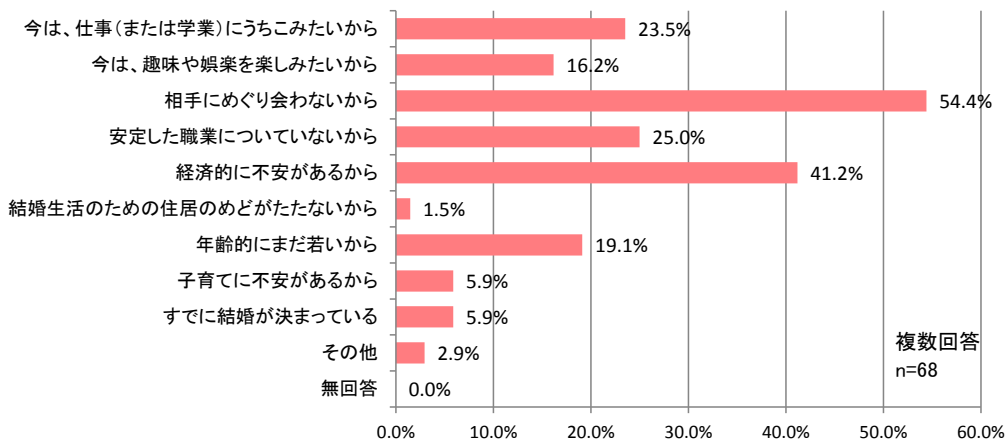
### (4) 結婚・出産・子育てに係る現状・意向

- 20～49歳の独身の回答者については、65.4%が「いずれ結婚したい」と考えている。
- 現在結婚していない理由としては、「相手にめぐり合わない(54.4%)」が最も多く、次いで「経済的に不安(41.2%)」「安定した職業に付いていない(25.0%)」の順となっている。
- 仕事と子育ての考え方としては、「子どもをもち仕事を続ける」と回答する女性が、44.1%みられる。

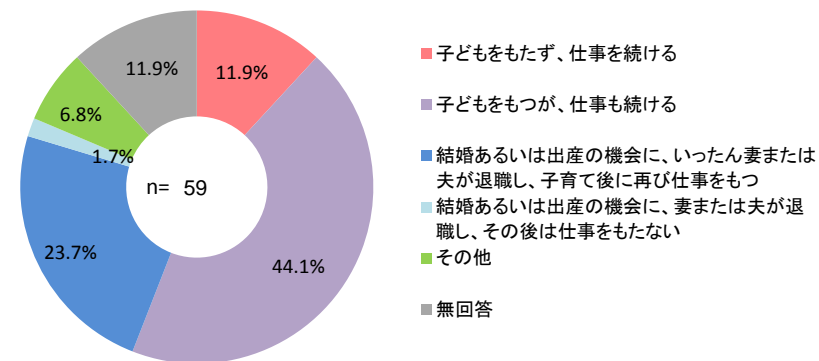
▼問24 結婚に対する考え  
(20～49歳の独身者)



▼問25 現在結婚していない理由  
(20～49歳の結婚したい独身者)



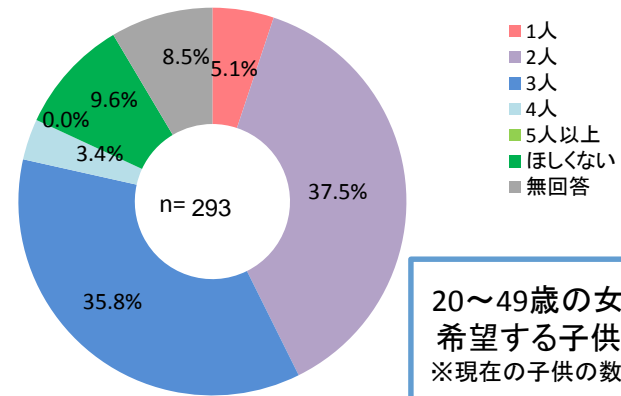
▼問26 仕事と子育ての考え方  
(20～49歳の女性の独身者)



### (4) 結婚・出産・子育てに係る現状・意向

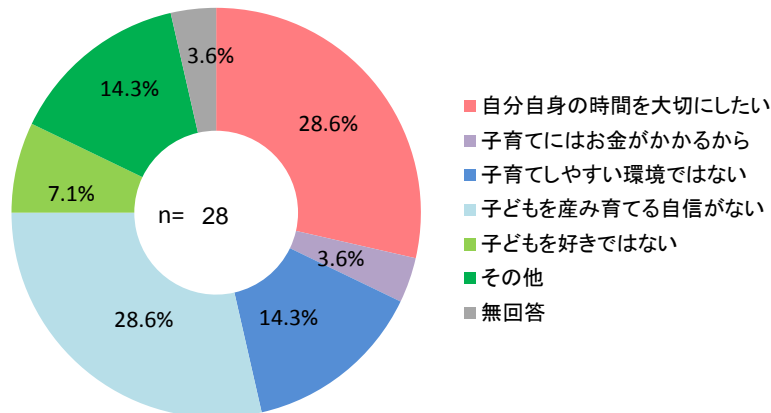
- 20～49歳の回答者が希望する子供の数は、2人が最も多く(37.5%)、次いで3人(35.8%)であり、女性が希望する子供の数は、2.3人である。
- 一方、子どもがほしくない回答者は9.6%であり、その理由としては、「自分自身の時間を大切にしたい(28.6%)」と、「子どもを産み育てる自信がない(28.6%)」の回答が多い。
- 20～49歳の回答者が、子どもの数を増やすために必要な取組みとしては、「経済的負担の軽減」が最も多く、次いで「子育てと仕事を両立できる職場環境」「乳幼児保育などの環境整備」に対する要望が高い。

▼問27 希望する子供の数  
(20～49歳)

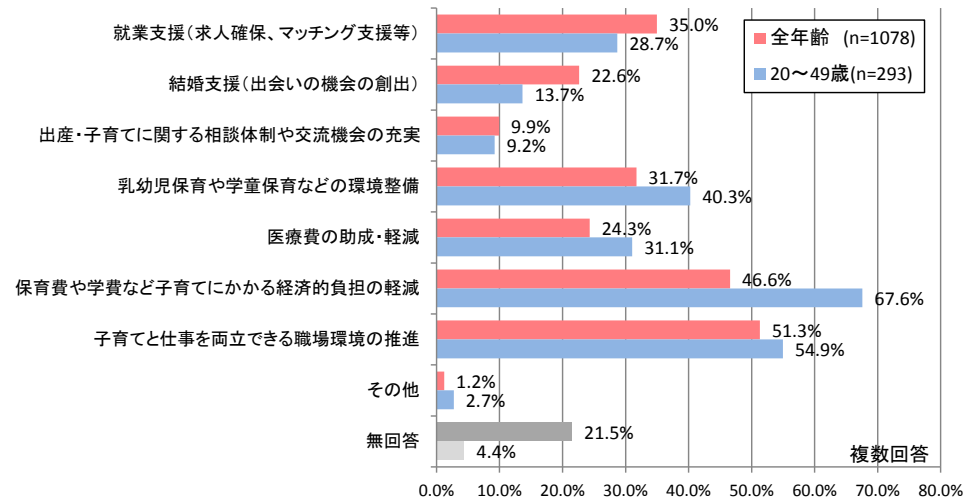


20～49歳の女性(n=170)が希望する子供の数: 2.3人  
※現在の子供の数: 1.4人

▼問28 子どもがほしくない理由  
(20～49歳)



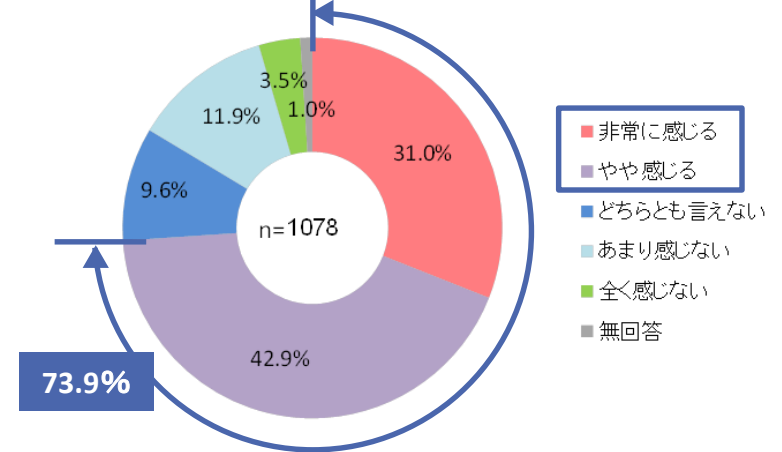
▼問29 子どもの数を増やすために必要な取組み



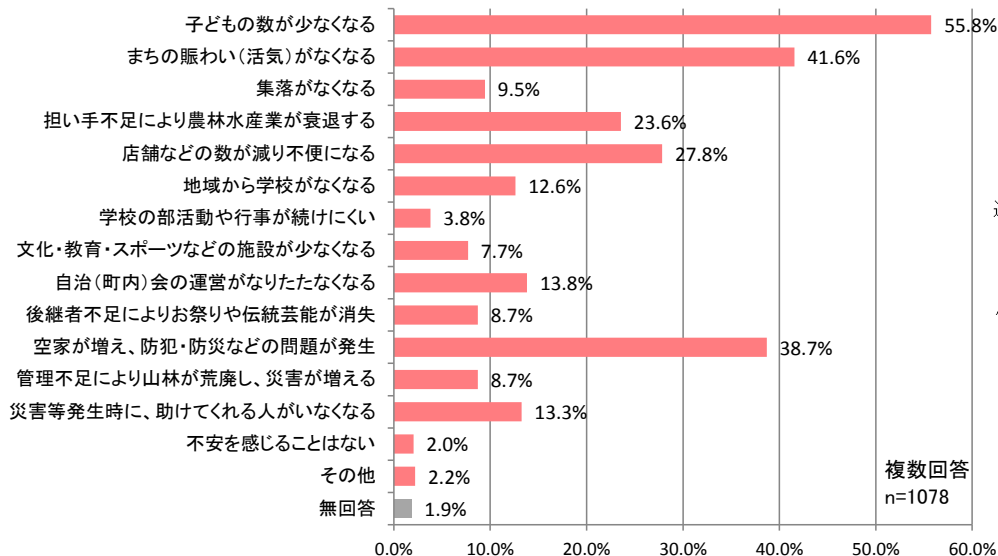
### (5) 人口減少に係る現状認識

- 回答者の73.9%が、身近なこととして、人口が減少していると感じている。
- 今後さらに人口が減少し続けた場合、不安に感じることとしては、「子どもの数の減少(55.8%)」「まちの賑わい喪失(41.6%)」「空家の問題(38.7%)」が多い。
- 人口減少を克服し持続可能な地域社会をつくるため、最も重要な取り組みとしては、「産業を振興し、雇用の場を増やす(49.5%)」「結婚・出産・子育ての支援(21.8%)」となっている。

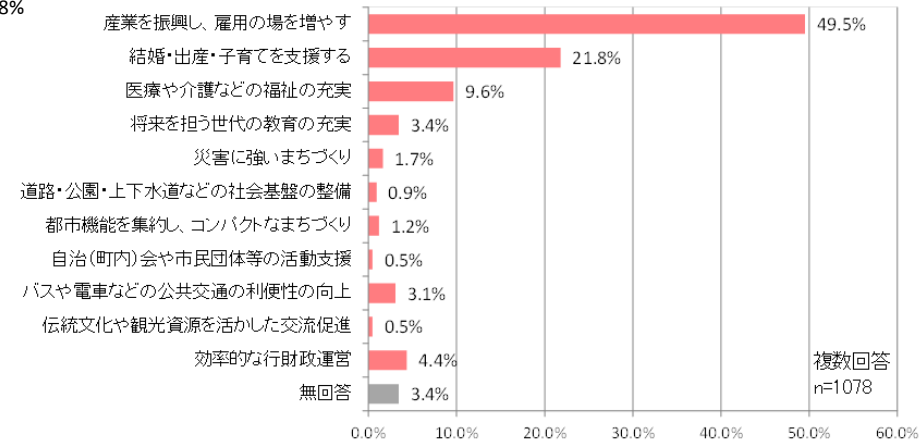
▼問21 人口減少を身近に感じるか



▼問22 人口減少が進展した場合の不安事項



▼問23 人口減少を克服するために最も重要な取り組み

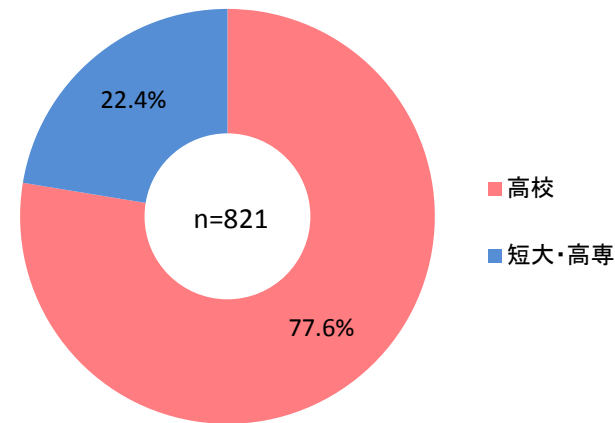


# 3. 学生アンケート結果(速報)

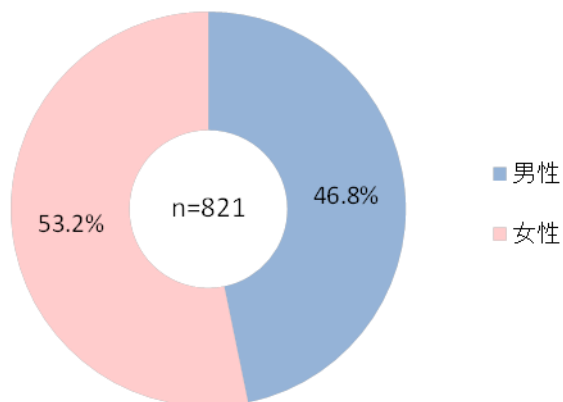
## (1) 属性

- 学生アンケートは、高校生673人(77.6%)、短大・高専生184人(22.4%)から回答を得た。
- 男女比は概ね5割ずつ、回答者の62.7%が八代市出身者である。

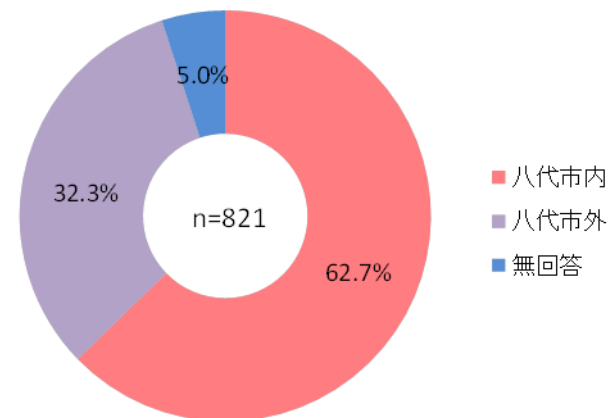
▼問1 学校



▼問1 性別



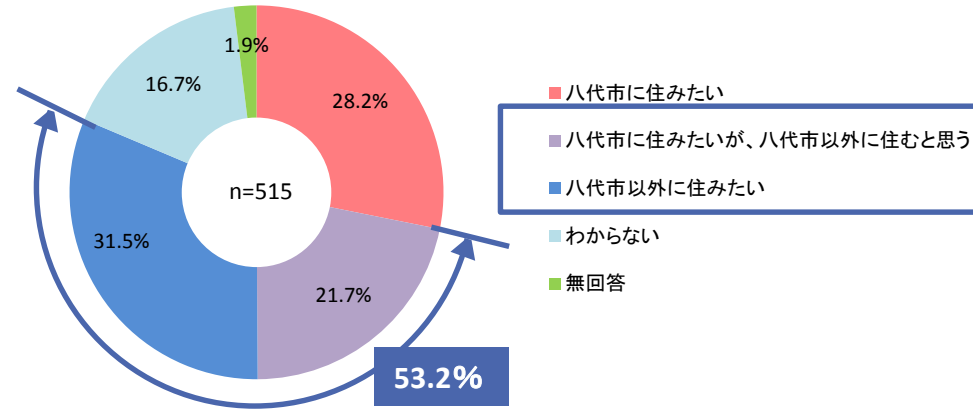
▼問1 出身



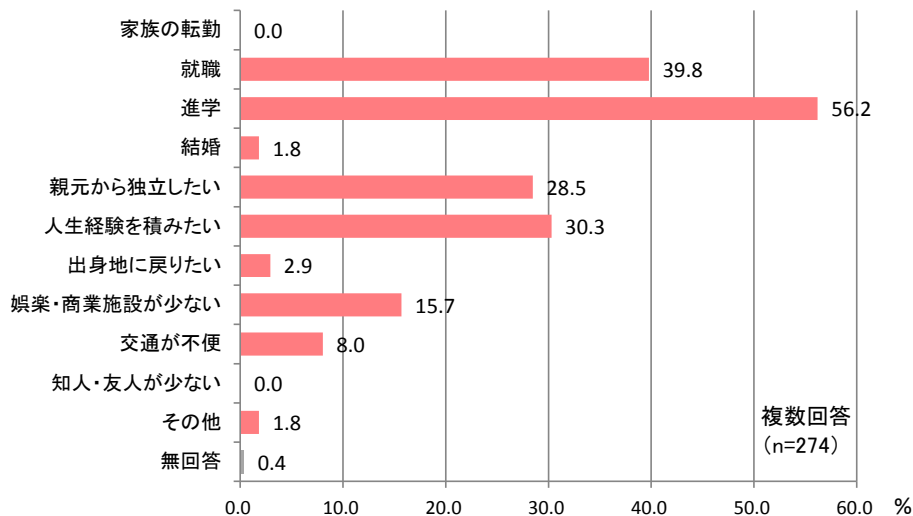
## (2) 卒業後の居住地に係る意向

- 八代市出身者については、53.2%が卒業後八代市以外に住む(住みたい)と回答している。
- その理由のほとんどが、進学・就職である。
- 住みたい地域としては、福岡県、関東・関西などの大都市圏に次いで熊本市となっている。

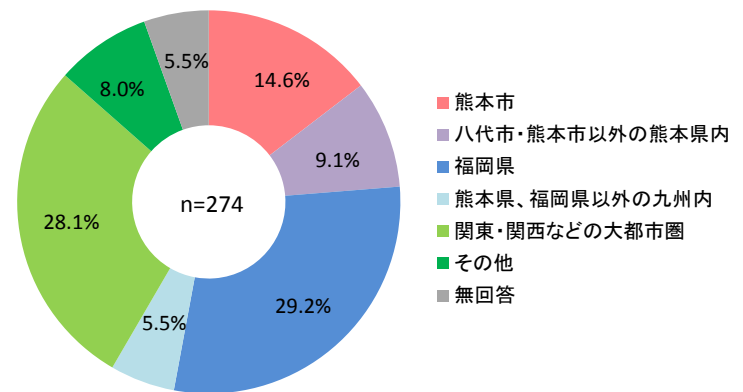
▼問2 卒業後の八代市居住意向  
(八代市出身者)



▼問3 八代以外に住む理由  
(八代市出身者)



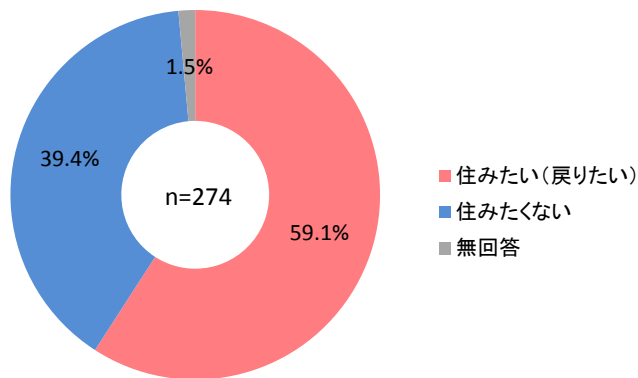
▼問4 住みたい地域  
(八代市出身者)



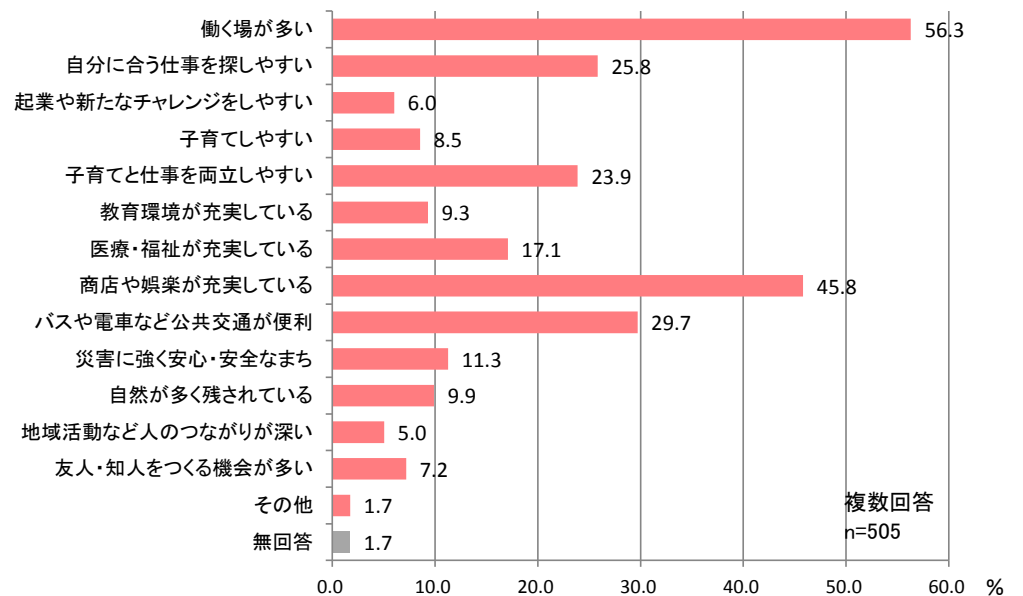
## (2) 卒業後の居住地に係る意向

- 卒業後八代市外に転出しても、将来八代市に住みたい(戻りたい)と考えている学生は、59.1%を占める。
- 八代市に住むために必要な環境・支援としては、「働く場が多い(56.3%)」「商店や娯楽が充実している(45.8%)」「公共交通が便利(29.7%)」「自分に合う仕事を探しやすい(25.8%)」「子育てと仕事を両立しやすい(23.9%)」が上位を占めている。

▼問5 将来の八代市居住意向  
(八代市出身者)



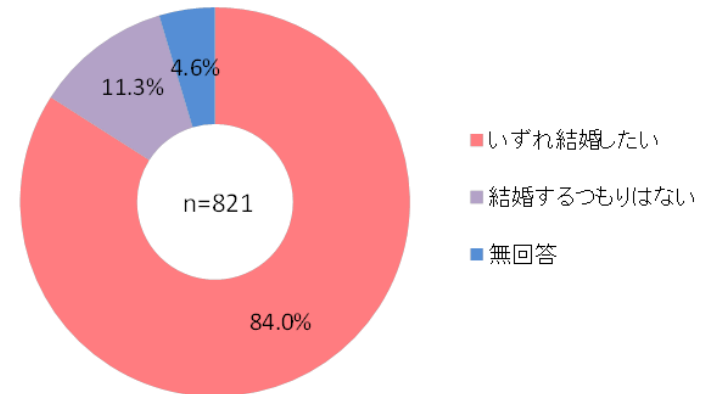
▼問6 八代市に住むために必要な環境・支援  
(八代市出身者)



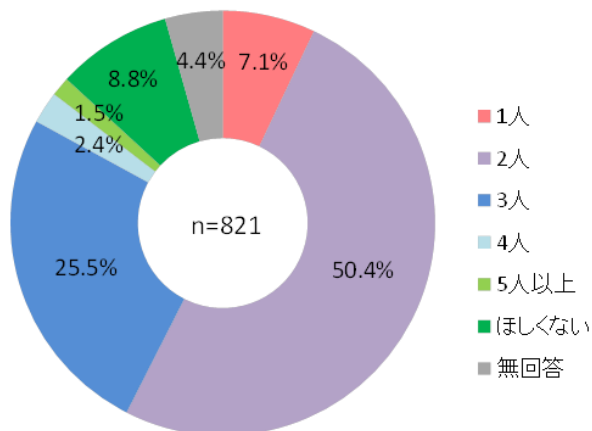
## (3) 結婚・出産・子育てに係る意向

- 学生の84.0%は、「いずれ結婚したい」と考えている。
- 将来希望する子供の数は、2人が最も多く(50.4%)、次いで3人(25.5%)であり、女性が希望する子どもの数は、2.2人である。
- 仕事と子育ての考え方としては、「子どもをもち仕事を続ける」と回答したのは、全体の59.2%みられる。

▼問8 結婚の意向



▼問9 希望する子どもの数



▼問11 仕事と子育ての考え方

